

キリンビール 2012年1月マンスリー・レポート

1. ビール・発泡酒・新ジャンル市場販売動向

- ビール+発泡酒+新ジャンル計は、マイナスとなったものの、「一番搾り」「淡麗グリーンラベル」がプラスと好調だったこともあり、市場平均を上回った。
- ビール計は、マイナス。
- 発泡酒計は、マイナス。
- 新ジャンル計は、微減。

《ビール》

- ◆「一番搾り」は、飲食店向けの樽が好調に推移したことにより、プラス。

《発泡酒》

- ◆「淡麗グリーンラベル」は、オリジナルTシャツが当たるキャンペーン効果もあり、2カ月連続のプラス。

《新ジャンル》

- ◆7年連続売上げNo.1※1の「のどごし〈生〉」はマイナスとなったものの、11年12月中旬製造品よりパッケージをブラッシュアップし、機能性新ジャンルとして定着した「キリン 濃い味〈糖質0（ゼロ）〉」が好調に推移。

※1 2005年「その他の雑酒②」、2006年～2011年「その他の醸造酒（発泡性）①」課税出荷数量による

《RTD》

- ◆RTD計はマイナスとなったものの、氷結ストロングシリーズは好調に推移。
- ◆2月8日からは、「キリンワインカクテル ワインスプリッツァ 白」を発売。新たにスプリッツァカテゴリーの創造を目指す。

《その他》

- ◆“世界初※2、アルコール0.00%”の「キリン フリー」は、飲食店向けのびんが好調に推移し、プラス。

※2 ビールテイスト飲料カテゴリーにおける。当社調べ

2. 和・洋酒販売動向

- ウイスキー計は、一部終売品の影響や、ハイボールブームで高い伸びとなった昨年の裏返しもあり、マイナス。
- 焼酎計は、マイナス。

- ◆梅酒は、約4割プラスと大幅増。昨年3月に新発売した紙パック梅酒の「まっこい梅酒」がけん引役となり梅酒全体が好調に推移。

以 上